



ハアモニイベル 作

# 人体模型ノふる〜す



# 目次

SCENE 1. (朝／校庭にて&職員室) . . . . .	1
SCENE 2. (朝／新入生の教室にて) . . . . .	2
SCENE 3. (夕方／家庭にて) . . . . .	3
SCENE 4. (もうすぐ卒業の六年一組の教室／の放課後) . . . . .	4
* END *補注* . . . . .	5



## SCENE 1 . (朝／校庭にて&職員室)

ものすごい音がした。

登校中の生徒たちはみな、

その音のする方を見た。

——光り輝く羽飾りのヘルメット

——厚い革製の盾を腕に通し

——青銅の長槍<sup>ながやり</sup>を空に突き上げて、

四頭の馬<sup>ひ</sup>が曳く戦車にのった中年の男が校庭を

砂煙を卷上げ駆け回っている。もう十周以上も。

「校長は飛び抜けて物凄いですな」

新任の真紫<sup>まむらさき</sup>に髪を染めた教師が他の教師に話しかける。

「あの校長のおかげでこの学校は自由が保たれてますがね」

初老のステテコの教師が答えた。職員室の窓から広い校庭が見える。

「教師は全員キャラが立ってはいくはない。そう新しい教育法に定められましたからね。フフ」

鼻の右端をサソリに挟ませた教頭が皮肉そうに横から口を挟んだ。

## SCENE 2. (朝／新入生の教室にて)

「はあ〜い、ハイハイ。みんなおしずかにネエェン。  
みんな、もう 幼稚園じゃ 又あ ウィン ドゥワ から。  
さあ、今日から、小学生なんだから、しゃんとしましよねシャント。  
はあ〜い、じゅあああああ、あらためて、  
みなさんに ごあいさつ しますうあね。  
今日からみなさんを うけもつことに になりました。  
ワタシがみんさんの先生の、ホモ・サピエンスでえす。  
今日から小学一年生になった、ネアンデルタールのみなさあん、よろしくねえん。  
一時間目は、二足歩行のれんしゅうよ。  
そう言いながらホントは《前へ倣え》を叩き込みますけど悪しからず。何も疑っちゃダメよ。  
さあさ、じゃあ、みなさん起立して後ろに整列。さあさ さあさ」

### SCENE 3. (夕方／家庭にて)

子「ねえ、おかあさん！ 飼ってもいいでしょ」

母「何を飼いたいの？」

子「フェリス・シルヴェストリス・カトウスだよ。ねえいいでしょ」

母「駄目に決まってるでしょそんな得体の知れないもの。」

子「ねえ、おかあさん！ いいでしょ。ねえおかあさんたら」

母「絶対にだめよ！ ダメです。そんな気持ちの悪い。」

\*

父「どうしたんだい。一体、何の騒ぎなんだい？」

母「この子が、フェリス・汁べと何トカが飼いたいって言うのよ」

父「そうか、猫とか犬ならいいけどな、汁べとは、父さんもちょっとな」

母「だから、勉強なんかするんじゃないっていつも言ってるのに」

\*

(翌日)

父「ただいま！ おーい来てごらん。ほら」

子「あっ、カニス・ルプス・ファミリアリスだ！ 父さんやった」

父「何、これはブルドッグじゃないのか？」

母「まあ、何なの。二人共どうせ面倒みないくせに」

\*

子「この犬、けっこう暴れん坊だけど、性格は真っ直ぐでいいやつみたいだ。よーし、名前は、<sup>しろ</sup>路にしよう。」

父「シロか（なるほど黑白だけど、白のが多いからな）そうだな、そうしよう。ははは、はは、ははは、ははは、ははは。」

## SCENE 4. (もうすぐ卒業の六年一組の教室／の放課後)

「ねえ、ベル君。わたしのどこが好き。」

「え？ うまく言えないんだ」

「じゃあ、このノートに書いてよ」

「え？ 新しいノートなのに、そこに書きちゃっていいの？」

「ねえはやく。お願い。好きなどころあるんでしょ？」

鉛筆を取りあげると、彼は、緊張しながら、  
彼女がいつも、後ろの席にいるじぶんの方に振り向いて  
明るく話しかけてくるときの 爽やかな あの笑顔を思い描いた。  
そして、真っ白なノートの真ん中に、  
こう、書いた。

### 胸鎖乳突筋

(パチン！！) ※頬を強烈にぶたれた音

「酷い!! わたし、乳首立ってないからね！」

「う、うん。ごめん」



**\* END \* 補注 \***

(註)

○フェリス・シルヴェストリス・カウス = Felis sylvestris Catus (猫の学名)

○カニス・ルプス・ファミリアリス = Canis lupus familiaris (犬の学名)

○子路.....孔子の愛弟子。真直ぐで不器用な豪傑だった。逃げることも出来たのに逃げずに敵と対面し身を切り刻まれて死ぬ彼の最期の言葉は「君子は死すときもなお冠を正す。見るがいい」だった。

○胸鎖乳突筋<sup>きょうさきにゅうとつきん</sup>.....ぶたれて真横を向いた彼の顔の下に見えたであろう首の筋。(きみの全部が好きだよという彼の気持ちは伝わらなかったようだ)

[ 人体模型ノぶるーす .2016年4月2日作品 ]

---

人体模型ノぶる〜す

---

著 ハァモニィベル

制 作 Puboo  
発行所 デザインエッグ株式会社

---